

令和6年6月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和6年6月27日(木) 午後3時～午後4時10分

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 有島洋之教育長、湖東政俊職務代理者、關野洋香委員、圓山留美委員、佐原孝信委員

4 職務のため出席した事務局員

天坂教育次長、西参事、尾山学校教育課長、小谷文化振興課長(兼博物館長)、西島スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、坂下学校給食センター所長、長谷川図書館長、大谷内学校教育課長補佐、砂山文化振興課長補佐

5 協議事項

【付議案件】

(1) 案件第1号 令和7年度国・県要望について(学校教育課)

【報告案件】

(1) 報告第1号 令和6年度氷見市教育総合センター研修事業について(教育総合センター)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和6年6月1日(土)から6月27日(木)までの教育委員会所管事項を、有島教育長が報告した。

6月市議会定例会の質問については担当課長が説明した。

[質疑応答]

・6月市議会定例会について

委 員	コミュニティ・スクールについて、各学校、第1回目の会議が終わったが、何か問題点や注意すべき点等の報告はあったか。
事 務 局	問題等の報告は聞いていない。
委 員	今後このようにしていきたいという課題等が出なかったのか。
事 務 局	会議は全部で3回程度開催予定であり、第1回目は、学校の方針を委員に了承してもらい、第2回目3回目に課題等が出てくるかもしれない。

委 員	宮田小学校について、学校訪問時、子供たちは不自由な中でものびのびと学習しており雰囲気も良かった。ぜひ早期の復旧をお願いしたい。
事 務 局	学校長と連絡を取りながら丁寧に早期に対応を進めていく。

(3) 協議内容

案件第1号は尾山学校教育課長が説明し、可決された。報告第1号について、山口教育総合センター所長が説明・報告した。

[質疑応答]

・令和7年度国・県要望について

委 員	特別支援教育の充実について、現在、学級編成基準では、3学年以上の児童生徒で1学級を編成する場合が生じているが、自閉症・情緒障害の児童生徒を1人の教師が同時に授業を行うと、3学年分の教材を同時に使用しなくてはならず、教員の負担が大きい。しかも自情級の子供たちの高校受験は普通学級の子供たちと同じであり、学力保証が非常に困難になっている。そのため国へ強く要望をお願いする。
事 務 局	どの市町村も共通の悩みを持っている。昨年から要望しているが、今後も実現するまで粘り強く要望を続けていく。
委 員	どんなふうになったら改善したといえるのか
事 務 局	現在は、3学年以上が1学級になっているが、2学級になれば負担が少しは解消できる。そのような要望をしていく。
委 員	学力保証の点からもお願いしたい。なるべく少ない人数で授業できた方が良い。
事 務 局	現在の基準は1学級当たり8人で、6学年にまたがっていても1学級しか開設できず、実情と合っていない。何とか改善していただくように要望していきたい。県や全国の教育長会でも問題になっており、力を合わせて解消していきたい。
委 員	学校給食費の無償化について、以前、学校給食費の公会計について話があったがその後どうなっているのか。
事 務 局	公会計化については、ストップしている状況であるが、国に給食費の無償化を認めてもらえれば、公会計化は必要なくなるので、まずは無償化を要望していく。

(4) 7月の行事予定を各所属長等が説明した。

(5) 8月の定例教育委員会議の開催を8月29日(木)午後3時に決定した。

(6) 閉 会 午後4時10分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員